

## 1:15 スタンドアローン USB デュプリケータおよびイレーサー

USB DUPE115



\*実際の製品は写真と異なる場合があります。

FR: Guide de l'utilisateur - [fr.startech.com](http://fr.startech.com)

DE: Bedienungsanleitung - [de.startech.com](http://de.startech.com)

ES: Guía del usuario - [es.startech.com](http://es.startech.com)

NL: Gebruiksaanwijzing - [nl.startech.com](http://nl.startech.com)

PT: Guia do usuário - [pt.startech.com](http://pt.startech.com)

IT: Guida per l'uso - [it.startech.com](http://it.startech.com)

本製品の最新情報、技術仕様、サポートについては、  
[www.startech.com/USB DUPE115](http://www.startech.com/USB DUPE115) をご覧ください。

## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。

StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

## カナダ産業省準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-3 (B)

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用する場合がありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

# 目次

<b>製品図</b> .....	1
トップビュー .....	1
バックビュー .....	1
<b>パッケージの内容</b> .....	2
<b>動作環境および使用条件</b> .....	2
<b>LED インジケータについて</b> .....	2
<b>デュプリケータとイレーサーをセットアップする</b> .....	3
<b>デバイス設定を変更する</b> .....	3
スタートアップ機能を変更する .....	3
オーディオフィードバック機能をオフにする.....	3
LCD ディスプレイ言語を変更する.....	4
デフォルト工場出荷時設定を復元する.....	4
<b>USB フラッシュドライブデータをコピーする</b> .....	4
コピー範囲を変更する.....	4
フラッシュドライブの容量を確認する.....	5
ターゲット公差.....	5
コピー速度を変更する.....	6
コピーと比較の時間を変更する.....	6
デバイスが自動的に USB フラッシュドライブを確認するように設定する.....	7
同期コピー .....	7
非同期コピー.....	8
実行中のコピーを停止する.....	8
非同期機能を無効にする .....	9
HDD または SSD にコピーする.....	9

USB フラッシュドライブを比較する .....	9
USB フラッシュドライブを比較してコピーする .....	9
<b>USB フラッシュドライブをフォーマットする .....</b>	<b>10</b>
USB フラッシュドライブを自動フォーマットする .....	10
USB フラッシュドライブを FAT16 でフォーマットする .....	10
USB フラッシュドライブを FAT32 でフォーマットする .....	11
FAT16 のクラスタサイズを設定する .....	11
FAT32 のクラスタサイズを設定する .....	12
<b>USB フラッシュドライブを消去する .....</b>	<b>12</b>
クイック消去を実行する .....	12
フル消去を実行する .....	13
DoD 消去を実行する .....	13
<b>システムのファームウェアバージョンを更新する .....</b>	<b>14</b>
<b>Checksum 数を計算する .....</b>	<b>14</b>
<b>読み込みおよび書き込み速度を測定する .....</b>	<b>14</b>
<b>USB フラッシュドライブの品質を分析する .....</b>	<b>15</b>
メディアチェックを実行する .....	15
レンジ限界率を変更する .....	15
MB レンジ限界を変更する .....	16
エラー限界を変更する .....	16
<b>USB フラッシュドライブの情報を表示する .....</b>	<b>16</b>
<b>システム情報を表示する .....</b>	<b>17</b>
<b>技術サポート .....</b>	<b>18</b>
<b>保証に関する情報 .....</b>	<b>18</b>

# 製品図 トップビュー



- ① LCD ディスプレイ
- ② 上方向ボタン
- ③ 下方向ボタン
- ④ OK ボタン
- ⑤ ESC ボタン
- ⑥ ソース元 USB フラッシュドライブポート
- ⑦ ソース元 USB フラッシュドライブポート LED インジケータ
- ⑧ ターゲット先 USB フラッシュドライブポート
- ⑨ ターゲット先 USB フラッシュドライブポート LED インジケータ

## バックビュー



- ⑩ 電源スイッチ
- ⑪ 電源アダプタポート

# パッケージの内容

- 1x デュプリケータ & イレーサー
- 1x ユニバーサル電源アダプタ (北米/日本/UK/EU/オーストラリア・ニュージーランドで使用可能)
- 1x クイックスタートガイド

## 動作環境および使用条件

- 1x ソース元 USB フラッシュドライブポート
- 1~15x ターゲット先 USB フラッシュドライブ

SD、SDHC、microSD、miniSD、MC、または CF カードを接続するには、各 USB フラッシュドライブポートごとに USB マルチメディアカードリーダーが必要になります。

条件は変更される場合があります。最新のシステム要件は、[www.startech.com/USBDUPE115](http://www.startech.com/USBDUPE115) でご確認ください。

## LED インジケータについて

16台の USB フラッシュドライブポートには、それぞれ検出/動作 LED とエラー LED 機能が付いています。

LED 動作	意味
緑色の LED が点滅している	コマンド実行中 <b>警告!</b> 緑色の LED が点滅している間は USB フラッシュドライブを取り外さないでください。
緑色の LED が点灯している	USB フラッシュドライブ検出完了 または 処理完了
赤色の LED が点灯している	エラー発生 詳しくは LCD ディスプレイを参照してください。

# デュプリケータとイレーサーを セットアップする

1. ユニバーサル電源アダプタをデュプリケータとイレーサーの電源アダプタポートとコンセントに接続します。
2. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
3. UP (上方向) と DOWN (下方向) ボタンを押して移動しメニューを選択します。
4. OK ボタンを押して選択したメニューを確定します。
5. 選択メニューを解除するには ESC ボタンを押します。

デュプリケータとイレーサーの機能に関する詳細は、ユーザマニュアルの該当セクションを参照してください。

## デバイス設定を変更する

**Setup (設定)** メニューでは、ボタンのサウンドや表示言語など、デュプリケータとイレーサーの設定を変更することができます。

### スタートアップ機能を変更する

デュプリケータとイレーサーの電源を入れたときに表示する機能を選択することができます。デフォルトでは、デュプリケータとイレーサーの電源を入れたときにコピー機能が表示されます。

1. **Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Start-up Menu (スタートアップメニュー)** を選択して OK ボタンを押します。
3. デュプリケータとイレーサーの電源を入れたときに表示したい機能を選択して OK ボタンを押します。

### オーディオフィードバック機能をオフにする

デフォルトでは、オーディオフィードバック機能が有効になっています。

1. **Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Botton Sound (ボタンのサウンド)** を選択して OK ボタンを押します。
3. **OFF (オフ)** を選択して OK ボタンを押します。

## LCD ディスプレイ言語を変更する

1. **Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Language (言語)** を選択して OK ボタンを押します。
3. **English (英語)** または **Japanese (日本語)** を選択して OK ボタンを押します。

## デフォルト工場出荷時設定を復元する

1. **Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Set to Default (デフォルトに設定する)** を選択して OK ボタンを押します。
3. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。

## USB フラッシュドライブデータをコピーする

デュプリケータとイレーサーの USB フラッシュドライブポートには、それぞれ独立した CPU が搭載されており、非同期および同期コピーをサポートしています。

### コピー範囲を変更する

デュプリケータとイレーサーは、USB フラッシュドライブにあるシステムとファイル、またはすべてのデータをコピーすることができます。

#### システムおよびファイル

**System and Files (システムとファイル)** を選択すると、システムがソース元 USB フラッシュドライブのフォーマットを分析し、認識可能なフォーマットであれば (例えば FAT16、FAT32、NTFS、Linues ext.2 など)、システムが USB フラッシュドライブ全体ではなく、データのみをコピーします。システムがフォーマットを認識できない場合、システムは空のスペースを含めソース元 USB フラッシュドライブのストレージ容量全体をコピーします。このようなタイプのコピーは、「クイックコピー」と言います。

#### メディア全体

**Whole Media (メディア全体)** をコピー範囲として選択すると、システムがファイルと空のスペースを含めソース元 USB フラッシュドライブ全体をコピーします。このオプションは、USB フラッシュドライブ全体をコピーしたい場合、または USB フラッシュドライブのフォーマットがわからない場合に使用すると便利です。ソース元 USB フラッシュドライブのメディア全体のコピーには、システムとファイルとのコピーよりも長く時間がかかります。

デフォルトでは **Sustem and Files (システムとファイル)** が有効になっています。



1. **Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Copy Area (コピー範囲)** を選択して OK ボタンを押します。
3. 次の手順のひとつを実行してください。
  - **Sytem and Files (システムとファイル)** を選択して OK ボタンを押します。
  - **Whole Media (メディア全体)** を選択して OK ボタンを押します。

## フラッシュドライブの容量を確認する

USB フラッシュドライブが容量チェックをクリアすると、緑色の LED インジケータが USB フラッシュドライブポートの横に点灯します。USB フラッシュドライブが容量チェックをクリアしないと、赤色の LED インジケータが USB フラッシュドライブポートの横に点灯します。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーザーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Capacity Check (容量チェック)** を選択して OK ボタンを押します。
4. USB フラッシュドライブの容量を表示するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

**ヒント!**この製品は非同期操作に対応しているため、システムが USB フラッシュドライブを個別にチェックすることができます。チェックが終了したら USB フラッシュドライブを取り外します。別の USB フラッシュドライブを挿入してチェックを継続します。

## ターゲット公差

ソース元 USB フラッシュドライブとターゲット先 USB フラッシュドライブの容量公差範囲を設定することができます。USB フラッシュドライブの容量が公差範囲外な場合は、データはコピーされません。例えば、ターゲット公差を  $\pm 1\%$  とし、ソース元 USB フラッシュドライブの容量が 2GB でターゲット先 USB フラッシュドライブの容量が 2.02GB である場合、ターゲット USB フラッシュドライブにデータはコピーされません。デフォルトでは、ターゲット公差は **No Limit (制限なし)** に設定されています。

1. **Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Target Tolerance (ターゲット公差)** を選択して OK ボタンを押します。
3. 次の手順のひとつを実行してください。
  - 容量公差範囲を無効にするには、**No Limit (制限なし)** を選択して OK ボタンを押します。  
**注意!**ソース元の USB フラッシュドライブのデータがターゲット先 USB フラッシュドライブのデータ容量よりも大きく、また容量公差範囲が制限なしに設定されている場合、コピーでエラーが発生するか不完全に終了します。

- ターゲット先 USB フラッシュドライブの容量とソース元 USB フラッシュドライブの容量を完全に一致させるには、**100% Same (100%同じ)**を選択して OK ボタンを押して設定します。**注意!** ソース元の USB フラッシュドライブのデータとターゲット先 USB フラッシュドライブのデータ容量が一致しない場合、コピー処理は開始しません。
- ソース元 USB フラッシュドライブとターゲット元 USB フラッシュドライブ間の容量公差範囲は、**Allow Tolerance (公差を許可する)**を選択して OK ボタンを押して設定します。最大公差は、**No Limit (制限なし)**を選択するか、または 0~50% 間の数値を入力してから OK ボタンを押して設定します。最大公差は、**No Limit (制限なし)**を選択するか、または 0~50% 間の数値を入力してから OK ボタンを押して設定します。

## コピー速度を変更する

大抵の USB フラッシュドライブでは、コピー速度は**Normal (通常)**に設定します。

1. **Setup (設定)**を選択して OK ボタンを押します。
2. **Working Mode (実行モード)**を選択して OK ボタンを押します。
3. 次のうちひとつを選択して OK ボタンを押します。
  - **Fastest Mode (最高速モード)**
  - **Faster Mode (高速モード)**
  - **Normal Mode (通常モード)**
  - **Slower Mode (低速モード)**
  - **Slowest Mode (最低速モード)**

**ヒント!** USB フラッシュドライブのコピーでエラーが頻繁に発生する場合は、低速モードを選択してみてください。

## コピーと比較の時間を変更する

デフォルトでは、デュプリケータとイレーサはコピーが完了してから 3 秒間待ってから比較を開始するように設定されています。

1. **Setup (設定)**を選択して OK ボタンを押します。
2. **Power Off Time Between Copy & Copmare (コピーと比較間の電源オフタイム)**を選択して OK ボタンを押します。
3. 0~15 間の数値を入力してから OK ボタンを押して設定します。

# デバイスが自動的に USB フラッシュドライブを確認するように設定する

デフォルトでは、デュプリケータとイレーサはコピー開始前に USB フラッシュドライブをチェックしないように設定されています。

1. **Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Check Before Copy (コピー前にチェックする)** を選択して OK ボタンを押します。
3. **Do Check (チェックを実行)** を選択して OK ボタンを押します。

## 同期コピー

同期コピーを実行すると、接続されている USB フラッシュドライブのすべてが同時にコピーされるかまたは比較されます。コピーが完了するまで接続している USB フラッシュドライブは取り外すことができません。

**注記:** ソース元 USB フラッシュドライブのデータサイズがシステムのバッファメモリよりも大きい場合、非同期コピー機能が有効になっていてもデバイスは同期コピーを実行します。

**注意!** コピーでのエラーを回避するには、ソース元 USB フラッシュドライブの容量はターゲット先 USB フラッシュドライブの容量以上でなければなりません。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. 非同期コピー機能が有効になっている場合は、これを無効にします。手順の詳細は、ユーザマニュアルの「非同期機能を無効にする」セクションを参照してください。
3. 必要であれば、コピー設定を変更します (例えば、コピー範囲、コピー速度、ターゲット公差など)。
4. ソース元 USB フラッシュドライブをソース元 USB ドライブポートに挿入します。
5. ターゲット先 USB フラッシュドライブを最大15台までターゲット先 USB フラッシュドライブポートに挿入します。
6. **Copy (コピー)** を選択して OK ボタンを押します。
7. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。

**警告!** 緑色の LED が点滅している間は、USB フラッシュドライブを取り外さないください。コピー処理の中断やデータが消失したり破壊されたりする可能性があります。

## 非同期コピー

非同期コピーを実行すると、接続されている USB フラッシュドライブが一度に1台ずつコピーされるかまたは比較されます。USB フラッシュドライブの横の緑色の LED インジケータが点滅し終わったら、その他の USB フラッシュドライブのコピーまたは比較が終了していなくても USB フラッシュドライブを取り外すことができます。

**注記:**ソース元 USB フラッシュドライブのデータサイズがシステムのバッファメモリより大きい場合、システムは自動的に同期モードでコピーを実行します。

**注意!**コピーでのエラーを回避するには、ソース元 USB フラッシュドライブの容量はターゲット先 USB フラッシュドライブの容量以上でなければなりません。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. 必要であれば、コピー設定を変更します (例えば、コピー範囲、コピー速度、ターゲット公差など)。
3. ソース元 USB フラッシュドライブをソース元 USB ドライブポートに挿入します。
4. ターゲット先 USB フラッシュドライブを最大15台までターゲット先 USB フラッシュドライブポートに挿入します。
5. **COPY (コピー)** を選択して OK ボタンを押します。
6. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。
7. 緑色の LED インジケータが点滅し終わったら、ターゲット先 USB フラッシュドライブを取り外して別の USB フラッシュドライブを挿入して処理を続行します。
8. 各 USB フラッシュドライブのコピー処理の進捗状況を確認するには、UP (上方向) とDOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

**警告!**緑色の LED が点滅している間は、USB フラッシュドライブを取り外さないでください。コピー処理の中断やデータが消失したり破壊されたりする可能性があります。

## 実行中のコピーを停止する

1. コピー処理を停止するには、次の手順のひとつを実行します。
  - 最低速 USB フラッシュドライブポートへのデータコピーを停止するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) ボタンを5秒間押します。
  - すべての USB フラッシュドライブポートへのデータコピーを停止するには、ESC ボタンを5秒間押します。

## 非同期機能を無効にする

デフォルトでは、非同期機能が有効になっています。

1. **Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Asynchronous (非同期)** を選択して OK ボタンを押します。
3. **Disable (無効)** を選択して OK ボタンを押します。

## HDD または SSD にコピーする

1. USB - SATA HDD ドッキング ステーションまたは USB - SATA ドライブエンクロージャをデュプリケータとイレーサーに接続します。
2. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
3. UP (上方向) と DOWN (下方向) ボタンを使用して、**Setup (設定)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Set HDD Mode (HDDモードを設定する)** を選択して OK ボタンを押します。
5. **Active (アクティブ)** を選択して OK ボタンを押します。

## USB フラッシュドライブを比較する

USB フラッシュドライブをコピーし終えたら、比較機能を使用してデータが正確にコピーされたか確認します。

1. コピー処理が終了したら、**Compare (比較)** を選択して OK ボタンを押します。
2. UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

## USB フラッシュドライブを比較してコピーする

コピー処理が終了したらデュプリケータとイレーサーが自動的に USB フラッシュドライブを比較するように設定することができます。

1. **Copy + Compare (コピーと比較)** を選択して OK ボタンを押します。
2. UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

# USB フラッシュドライブをフォーマットする

**警告!** USB フラッシュドライブをフォーマットすると、USB フラッシュドライブ内のすべてのデータが消去されます。必要なデータが USB フラッシュドライブ内にある場合は、バックアップファイルを作成するか異なるドライブを使用してください。

## USB フラッシュドライブを自動フォーマットする

USB フラッシュドライブを自動フォーマットすると、システムが USB フラッシュドライブの容量を確認して適切にフォーマットします。

USB フラッシュドライブのフォーマットについては、下記の表を参照してください。

オリジナルフォーマット	自動フォーマット後
FAT16	変更なし
FAT32	変更なし
NTFS、Linux、2GB以上のマルチパーティション FAT	FAT32
NTFS、Linux、2GB未満のマルチパーティション FAT	FAT16

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを自動的にフォーマットするには、USB フラッシュドライブを最大15台までターゲット先 USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Do Format (フォーマットを実行)** を選択して OK ボタンを押します。
5. **Auto Format (自動フォーマット)** を選択して OK ボタンを押します。
6. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。
7. フォーマットの進捗状況と USB フラッシュドライブの情報を確認するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

## USB フラッシュドライブを FAT16 でフォーマットする

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。

3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Do Format (フォーマットを実行)** を選択して OK ボタンを押します。
5. **FAT16 Format (FAT16 フォーマット)** を選択して OK ボタンを押します。
6. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。
7. フォーマットの進捗状況と USB フラッシュドライブの情報を確認するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

## USB フラッシュドライブを FAT32 でフォーマットする

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Do Format (フォーマットを実行)** を選択して OK ボタンを押します。
5. **FAT32 Format (FAT32 フォーマット)** を選択して OK ボタンを押します。
6. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。
7. フォーマットの進捗状況と USB フラッシュドライブの情報を確認するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

## FAT16 のクラスタサイズを設定する

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Do Format (フォーマットを実行)** を選択して OK ボタンを押します。
5. **Set FAT16 Cluster Size (FAT16 のクラスタサイズを設定する)** を選択して OK ボタンを押します。
6. 次のうちひとつを選択して OK ボタンを押します。
  - **Auto (自動)**
  - **4KB**
  - **8KB**
  - **16KB**
  - **32KB**
  - **64KB**

## FAT32 のクラスタサイズを設定する

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Do Format (フォーマットを実行)** を選択して OK ボタンを押します。
5. **Set FAT16 Cluster Size (FAT16 のクラスタサイズを設定する)** を選択して OK ボタンを押します。
6. 次のうちひとつを選択して OK ボタンを押します。
  - **Auto (自動)**
  - **4KB**
  - **8KB**
  - **16KB**
  - **32KB**
  - **64KB**

## USB フラッシュドライブを消去する

デュプリケータとイレーサーには、クイック消去、フル消去、DoD消去の3つの消去機能が搭載されています。

### クイック消去を実行する

クイック消去を実行すると、USB フラッシュドライブ内のすべてのコンテンツが消去され、USB フラッシュドライブはアンフォーマットされます。一番速い消去方法です。

**警告!**以下の手順を完了すると、ドライブ内の全データが消去されます。必要なデータが USB フラッシュドライブ内にある場合は、バックアップファイルを作成するか異なるドライブを使用してください。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Quick Erase (クイック消去)** を選択して OK ボタンを押します。
5. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。

**ヒント!**消去処理の進捗状況を確認するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。



## フル消去を実行する

フル消去を実行すると、システムが単一パス上書きを実行して USB フラッシュドライブ内のすべてのコンテンツとフォーマットを消去します。この消去方法はクイック消去よりも長く時間がかかります。

**警告!**以下の手順を完了すると、ドライブ内の全データが消去されます。必要なデータが USB フラッシュドライブ内にある場合は、バックアップファイルを作成するか異なるドライブを使用してください。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Full Erase (フル消去)** を選択して OK ボタンを押します。
5. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。

**ヒント!**消去処理の進捗状況を確認するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

## DoD 消去を実行する

DoD 消去を実行すると、システムがスリーパスの上書きを実行して USB フラッシュドライブ内のすべてのコンテンツとフォーマットを消去します。この消去方法はクイック消去やフル消去よりも長く時間がかかります。

**警告!**以下の手順を完了すると、USB フラッシュドライブ内の全データが消去されます。必要なデータが USB フラッシュドライブ内にある場合は、バックアップファイルを作成するか異なるドライブを使用してください。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **DoD Erase (フル消去)** を選択して OK ボタンを押します。
5. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。

**ヒント!**消去処理の進捗状況を確認するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

# システムのファームウェアバージョンを更新する

1. FAT32 でフォーマットした USB フラッシュドライブにファームウェアのアップデートを保存します。

**注記:**ファームウェアのアップデートファイルが解凍され、フォルダにないことを確認します。

2. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
3. USB フラッシュドライブを USB フラッシュドライブポートに挿入します。
4. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
5. **Sytem Update (システムを更新する)** を選択して OK ボタンを押します。
6. 確認メッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。
7. ファームウェアの更新が完了したら、POWER (電源) スイッチを OFF の位置に合わせます。
8. 数分待つてからデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。

## Checksum 数を計算する

ソース元 USB フラッシュドライブのチェックサム数を計算します。計算されるチェックサムエリアは、設定されたコピーエリアに基づいています。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
  2. USB フラッシュドライブをソース元 USB ドライブポートに挿入します。
  3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
  4. **Calc. Checksum (Checksum を計算する)** を選択して OK ボタンを押します。
- 計算が完了すると、チェックサムが LCD ディスプレイに表示されます。

## 読み込みおよび書き込み速度を測定する

USB フラッシュドライブの読み取り速度と書き込み速度を測定します。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを最大15台までターゲット先 USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Measure Speed (速度を測定する)** を選択して OK ボタンを押します。
5. 各 USB フラッシュドライブの速度を表示するには、UP (上方向) と DOWN (下方向) の矢印を使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

# USB フラッシュドライブの品質を分析する

デュプリケータとイレーサのメディアチェックを使用して USB フラッシュドライブの品質を分析することができます。メディアチェック機能では、範囲とエラー限界を変更することもできます。

## メディアチェックを実行する

実行できるメディアチェックは、H3 Safe、H5 RW、H6 SafeRW の3つです。H3 Safe メディアチェックを選択すると、システムが USB フラッシュドライブを読み込んで品質を分析します。H5 RW または H6 SafeRW メディアチェックを選択すると、システムが USB フラッシュドライブを読み込みと書き込み実行して品質を分析します。

**警告!**以下の手順を完了すると、USB フラッシュドライブ内の一部またはすべてのデータが消去される可能性があります。必要なデータが USB フラッシュドライブ内にある場合は、バックアップファイルを作成するか異なるドライブを使用してください。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを最大15台までターゲット先 USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **Media Check (メディアチェック)** を選択して OK ボタンを押します。
5. 次の手順のひとつを実行してください。
  - **H3 Safe** を選択して OK ボタンを押します。
  - **H5 RW** を選択して OK ボタンを押します。
  - **H6 SafeRW** を選択して OK ボタンを押します。

チェックが完了すると、検出された不良なセクターの量と USB フラッシュドライブの読み取り/書き込み速度が LCD ディスプレイに表示されます。

## レンジ限界率を変更する

品質チェックを実施したい USB フラッシュドライブのレンジ限界率を選択することができます。

1. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Media Check (メディアチェック)** を選択して OK ボタンを押します。
3. **Setup Range % (レンジ%を設定する)** を選択して OK ボタンを押します。
4. 1~100 間の率を入力してから OK ボタンを押して設定します。

## MB レンジ限界を変更する

1. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Media Check (メディアチェック)** を選択して OK ボタンを押します。
3. **Setup Range MB (レンジ MB を設定する)** を選択して OK ボタンを押します。
4. 1~9000MB 間の率を入力してから OK ボタンを押して設定します。

## エラー限界を変更する

USB フラッシュドライブでエラーをチェックする際の公差範囲を設定します。

1. **Utility (ユーティリティ)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **Media Check (メディアチェック)** を選択して OK ボタンを押します。
3. **Set Error Limit (エラー限界を設定する)** を選択して OK ボタンを押します。
4. 次の手順のひとつを実行してください。
  - **Sector (セクター)** を選択して OK ボタンを押します。
  - **KB** を選択して OK ボタンを押します。
  - **MB** を選択して OK ボタンを押します。
  - **GB** を選択して OK ボタンを押します。
5. 数値を選択して OK ボタンを押します。

## USB フラッシュドライブの情報を表示する

この機能を使用すると、ドライブタイプ、コンテンツサイズ、総容量、ポート番号を含む USB フラッシュドライブの情報を表示することができます。

1. POWER (電源) スイッチを押してデュプリケータとイレーサーの電源を入れます。
2. USB フラッシュドライブを最大15台までターゲット先 USB フラッシュドライブポートに挿入します。
3. **Information (情報)** を選択して OK ボタンを押します。
4. **USB Info. (USB 情報)** を選択して OK ボタンを押します。
5. UP (上方向) と DOWN (下方向) ボタンを使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

# システム情報を表示する

この機能を使用すると、モデル番号、使用中のファームウェアバージョンを含むシステム情報を表示することができます。

1. **Information (情報)** を選択して OK ボタンを押します。
2. **System Info. (システム情報)** を選択して OK ボタンを押します。
3. UP (上方向) と DOWN (下方向) ボタンを使って USB フラッシュドライブポートのリストを移動します。

# 技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、[www.startech.com/support](http://www.startech.com/support) までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンラインツール、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は [www.startech.com/downloads](http://www.startech.com/downloads) でご確認ください

## 保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

### 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はおお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はおお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は [www.startech.com](http://www.startech.com) までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利なツールをお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。